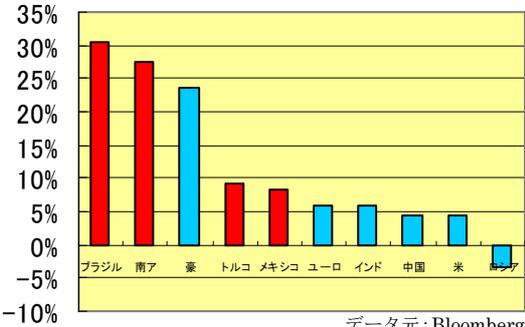




直近の動向

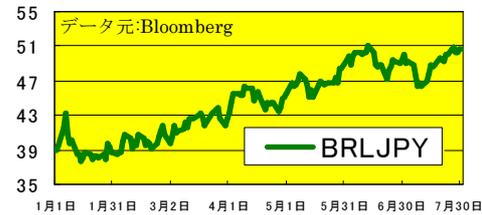
7月中旬にかけて資源価格が下落。それとともに各国通貨も軟調な動きをしていた。下旬にかけて、世界的に株式市場が年初来高値を更新し始め、特に南アフリカやトルコなどの新興国で株価上昇率が著しかった。また、低金利通貨を売り、高金利通貨を買う動きが活発化した。各国の景気刺激策が効果を現し始めたものと思われるが、経済は安定しつつあるものの、回復は緩やかなものになるとの見方が多く、慎重な見方も多い。通貨では南ア・ランド、ブラジルレアルは年初から25%以上の上昇、またトルコリラの年初来騰落率が上昇している。ロシアはまたマイナスから回復出来ず。

先月までのエマージング通貨の
年初来対円騰落率



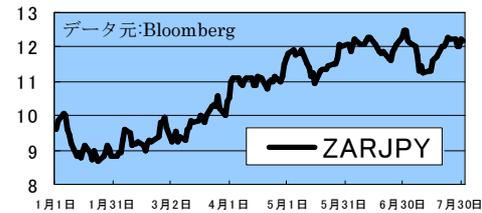
ブラジル

22日に政策金利を0.5%引き下げ8.75%とした。自動車減税等の対策により自動車等の耐久財や資源の生産、消費が増加、経済回復の動きを牽引している。また、6月で外資の流入が3ヶ月連続プラスとなった。今後のプラス成長予想の声も聞かれるようになり、回復の速度は増していると思われる。雇用の水準は依然低いが、増加傾向にある。ブラジルは今、いち早くリセッションを脱する国の1つと見られている。



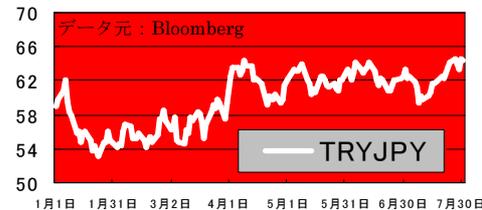
南アフリカ

株式市場が大幅続伸、4~7月で約17%の上昇。資源価格の上昇から採掘、鉱業関連企業の見通しが改善、景気回復を押し上げると見られている。09年下半期からの経済回復の動きがあるとされ、世界的な高金利通貨買いの動きもあり、ランドは安定した動きをしている。高い失業率とインフレ水準の動きが懸念材料。



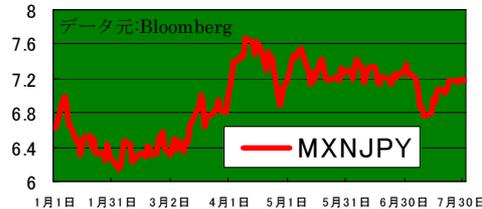
トルコ

16日に政策金利を8.25%に引き下げた。トルコは中東から欧州へのエネルギー輸送の拠点としての期待が高まっており、そのプロジェクトの基本合意もなされ注目度が高まっている。国内消費需要は改善の兆候。国内株式市場は年初来高値を更新しており4~7月で約64%の上昇。トルコリラも堅調な動き、年初来高値の水準に達している。



メキシコ

17日に政策金利を4.50%に引き下げた。新型インフルエンザの影響も大きく、2000年以降最低水準の失業率となった。自動車販売等も大きく落ち込んでいるが、政府は対策を打ち出しており、利下げも終了したと見られることから、今後の動向に注目。米国経済の影響が大きいいため、その回復とともに通貨の上昇が期待できる。



為替レート見通し

対円 (JPY)	09/08	09/11	10/02	10/08
米ドル (USD)	95	97	102	105
ブラジルレアル (BRL)	52	54	57	62
トルコリラ (TRY)	65	67	70	73
南ア・ランド (ZAR)	12.3	12.6	13	14
メキシコペソ (MXN)	7.27	7.41	7.83	8.25



この資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的とした2009年8月5日現在の当社の意見になります。また、当社が信頼できると考える情報源から得たデータに基づき作成しておりますが、その情報の正確性及び完全性について当社が保証するものではありません。

店舗案内

本社 :
東京都中央区新川
一丁目21番2号
茅場町タワー
TEL: 03-5541-7887

京都支店 :
京都府京都市中京区烏丸通
錦小路上手洗水町
659番地 烏丸中央ビル
TEL: 075-222-1001

大阪支店 :
大阪府大阪市中央区南船場
一丁目18番17号
商工中金船場ビル
TEL: 06-4705-6701

名古屋支店 :
愛知県名古屋市中村区名駅
三丁目22番8号
大東海ビル
TEL: 052-564-0051

札幌支店 :
北海道札幌市中央区
北一条西二丁目1番地
札幌時計台ビル
TEL: 011-221-1375

越谷支店 :
埼玉県越谷市赤山本町
2番14号
越谷駅西口TRビル
TEL: 048-967-6011

宝塚支店 :
兵庫県宝塚市逆瀬川
一丁目11番1号
アピア2
TEL: 0797-77-7751